

課題番号	研究課題名	研究代表者	評価結果
16106010	新規金属燐化物脱硫触媒の機能と構造解明	朝倉 清高 (北海道大学・触媒化学研究センター・教授)	A+

本研究は、新しい分光手法および機器の開発であり、様々な有意義な成果が得られ新しい触媒研究の手段として広範な応用への可能性を示した点で高く評価できる。特に、オペランド XAFS 法の完成により高活性触媒表面のキャラクタリゼーションを成功させ、動的な反応機構の解明も行った点、XAFS という新規触媒分析手法をセルからライン、システム化し、その概念と研究結果を他グループと共有できることを実現させたことは学術的にも高く評価できる。さらに、XAFS 法、QXAFS 法、DXAFS 法に関しても、精度の高性能化は、触媒化学分野においてのみならず他グループの研究促進に大きく寄与している点でも波及性は大きい。また、高圧、反応条件下での XAFS 測定が可能となった成果、表面科学分野における新規手法の可能性の成果も高く評価できる。脱硫触媒の機構解明に成功したことは、関連分野の研究発展に大きく寄与するものとして高く評価できる。